

# CHAPTER

## 第 8 章

### 特許権侵害の救済

#### 訂正情報

202 頁下から 3 行目

(誤) Column④⇒9 頁

(正) Column④⇒9 頁, Column⑰⇒216 頁

209 頁 4 行目

(誤) 後掲 Question 参照⇒213 頁

(正) 後掲 Question 参照⇒216 頁

#### フォローアップ

##### 法改正

とくになし。

##### 判例

とくになし。

##### 審査基準の改訂

とくになし。

## 補足情報（付加説明，参考文献紹介）

第3章，第4章，第8章全般について，下記文献参照。

中山信弘『特許法〔第3版〕』（弘文堂，2016年）

中山信弘=小泉直樹編『新・注解特許法 上・下』（青林書院，2011年）（改訂中）

増井和夫=田村善之『特許判例ガイド〔第4版〕』（有斐閣，2012年）

吉藤幸朔（熊谷健一補訂）『特許法概説〔第13版〕』（有斐閣，1998年）

## 3 損害賠償 (203頁)

下記文献参照。

田村善之『知的財産権と損害賠償〔新版〕』（弘文堂，2004年）——市場機会の利用可能性という損害概念を導入し，**all or nothing**の実務の状態を乗り越える解釈論を展開している。今日の損害額の割合的認定という裁判例・立法の流れを先取りしている。ドイツ，米国の比較法研究としても重要である。

中山信弘『特許法〔第2版〕』（弘文堂，2012年）361頁～380頁——情報の保護という観点から市場機会の損害概念の立場を基礎づけている。

『注解 特許法』102条（1510～1765頁）[飯田圭] ——特許権の損害賠償に関する事例と学説を網羅している。